

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年7月7日（木）

### 2 確認箇所

- ・物揚場周辺
- ・6号機原子炉建屋北側

### 3 確認項目

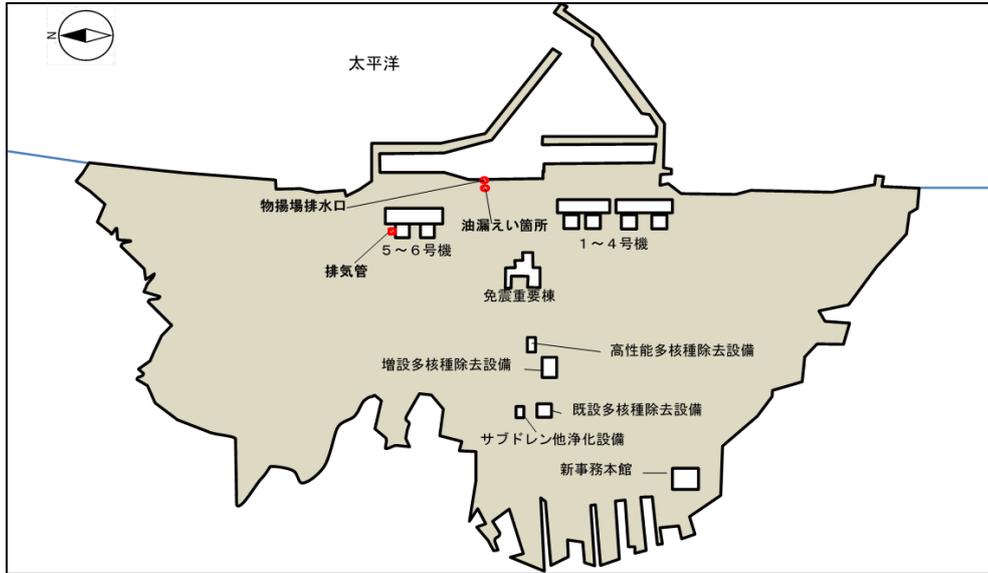
- (1) 物揚場付近の海面に確認された油の漏えい事象
- (2) 6号機高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機排気管除却工事の状況

### 4 確認結果の概要

#### (1) 物揚場付近の海面に確認された油の漏えい事象について

本日午前7時32分に物揚場付近の海面に油が漏えいしていることを東京電力の協力企業員が確認し、その後、漏えいに対する対応がなされたことから、現場の状況を確認した。（図1）

- ・現場では漏えいの原因であるトレーラーの下部に受けパンが設置されており、トレーラーの周囲には油が拡散しないよう土のうと吸着マットが設置されていた。なお、現場確認時、トレーラー下部からの油の滴下は目視で確認した限りで停止していた。（写真1）
- ・漏えい現場下流にある物揚場排水路のゲートの手前には、水面上に油膜が確認されたが、油の吸着マット等が複数設置され、油が下流へ流れていかないよう処理されていた。（写真2）
- ・物揚場排水口上流部にはオイルマットが敷かれており、オイルマットは土のうや石で固定されていた。（写真3）
- ・物揚場排水口付近では、漏えいした油を吸着させるため、オイルマットが投入されていた。（写真4）
- ・東京電力によれば、油漏えいのリスクを考慮し、使用されず置かれていたトレーラーの撤去・移動について計画しているとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
油が漏えいしたトレーラーの状況



(写真1-2)  
トレーラー下部に設置された受けパン



(写真1-3)  
トレーラー周辺の漏えい防止対策の状況



(写真 2 - 1)  
排水路の漏えい防止対策の状況



(写真 2 - 2)  
排水路の水面上に確認された油膜の状況



(写真 3)  
物揚場排水口及びその上流の状況①



(写真 4)  
物揚場排水口及びその上流の状況②

(2) 6号機高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機排気管除却工事の状況について

東日本大震災以降使用していない6号機の高圧炉心スプレイ系<sup>\*</sup>ディーゼル発電機の排気管（以下「排気管」という。）は劣化による倒壊等のリスクがあることから、除却工事が計画されているため、現在の状況を確認した。（図1）（写真5）

- ・排気管の除却作業は行なわれておらず、また、排気管の周辺に足場の設置等もなかった。（写真6）
- ・東京電力では8月中に排気管の除却を完了し、除却した排気管は細断処理するとしている。

※ 高圧炉心スプレイ系 非常用炉心冷却系の1つで、原子炉圧力が急激に低下しないような事故時、電動機駆動の高圧ポンプにより炉心に水をスプレーし、冷却を行う装置。電源は独立した電源(ディーゼル発電機)で確保される。



(写真5)  
撤去する排気管の状況



(写真6)  
撤去する排気管の下部の状況

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。